

これまでの研究サロン - 2016 年度 -

第 7 回「山科区・大津市の老人クラブ連合会 1 万人調査から見てきた高齢者の生きざま

開催日時：1 月 25 日 15:00-16:30

場所：京都橘大学 アクティブ・コモンズ

発表者：松本 賢哉（看護学部看護学科 准教授）

内容

高齢社会において寿命が延びるだけでなく、その人なりの健康を維持し生活に満足感をもって、日常生活の活動を行え、安定した幸せと感じる生活を送ることが重要です。そのため基礎的調査として、山科区と大津市の老人クラブ連合会の会員を対象に、年齢、性別、老研式活動指標、WHO 精神的健康状態、特性的自己効力感、主観的幸福感をアンケートにて調査しました。そこから大学を取り巻く地域の高齢者の特徴が見えてきたので、この結果について様々な学部の視点から議論をしたいと思います。



第 6 回「地域在住高齢者の健康支援に向けた基礎的研究」

開催日時：11 月 30 日 15:00-16:30

場所：京都橘大学 アクティブ・コモンズ

発表者：白岩 加代子（健康科学部理学療法学科准教授）

内容

理学療法学科ヘルスプロモーションコースでは、2014 年から滋賀県野洲市の地域在住高齢者を対象とした健康調査を実施しています。その調査結果を基に、高齢者の現状について報告致します。また高齢者の健康支援として考案した「たちばな健康体操」や「元気はつらつサポートブック」などについても紹介したいと考えています。



第5回「保育現場と『臨床の知』

開催日時：6月22日 15:00-16:30 京都橘大学 アクティブ・commonsにて

16:30-18:00 交流懇親会 クリスタル・カフェにて

発表者：神谷 栄司（人間発達学部児童教育学科教授）

濱田 智崇（健康科学部心理学科助教）

内容

本学と草津市との包括協定（2014年12月）にもとづいて2015年度より幼稚園・保育園との保育研究や子育てについての研究が始まりました（主として児童教育学科と心理学科の教員による）。その初年度の成果の一部が冊子「くさつ子」（本年5月刊行）に掲載されています。この冊子によりながら、保育現場の実践を対象にした研究とはどのようなものか、および、保護者の子育て意識の調査は何を示しているのか、について話題を提供します。

